

野毛山インクルーシブ構想の取り組みについて

1 概要

〈インクルーシブ構想のコンセプト〉

永く市民の皆様から愛されてきた歴史ある動物園・公園、中央図書館が集積する野毛山地区が、これまで以上に、誰もが分け隔てなく、学び、楽しみ、やすらげる場所となるよう、エリアコンセプトに基づき、各施設が連携しながらエリア全体でまちづくりを進めます。

誰もが学び、楽しみ、交流し、理解しあえる
インクルーシブなまちづくりの展開

エリアコンセプトに基づきリニューアル・施設整備を進める



2 令和6年度及び今後の主なスケジュール

| 種別 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 |
|------------|---------------|-----------------|-----------------|------|------|
| ① 障害児者支援拠点 | 事業者公募 | 設計・工事 | | | 完成予定 |
| ② 中央図書館 | [親子フロア] 設計・工事 | 完成予定 | [子どもフロア等] 設計・工事 | 完成予定 | |
| ③ 野毛山動物園 | ●リニューアルプラン策定 | ●先行整備 完成 | [第Ⅰ期整備] 設計・工事 | | 完成予定 |
| ④ アクセス環境向上 | | 歩道舗装改修・案内サイン等整備 | | | |

3 中央図書館内における「のげやま子ども図書館」の整備について

野毛山地区のまちづくりのエリアコンセプトに基づき、中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが遊びと読書を楽しみ、居心地良く過ごせる“子ども図書館”としてリニューアルします。また、誰もが使いやすい図書館となるようインクルーシブな環境づくりを進めます。

(1)親子フロア

敷地内に併設されている「喫茶のげやま」を、乳幼児とその保護者が安心して遊び絵本を読んで過ごすことができる「親子フロア」にリニューアルします。

スケジュール(予定) 4～7月：設計 10月～7年3月：工事等



のげやま子ども図書館
イメージパース(親子フロア)

※ イメージ図であり、今後の設計、工事のなかで一部変更する場合があります



上記パースと同じ位置からの
視点による現況の様子(参考)

(2)子どもフロア

子どもの本や、小説や暮らしの本、障害者サービスコーナーがある中央図書館の1階部分を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる「子どもフロア」としてリニューアルします。

スケジュール(予定) 6年度：基本設計 7年度以降：改修

4 野毛山動物園のリニューアルについて

(1) 市民意見募集の実施結果

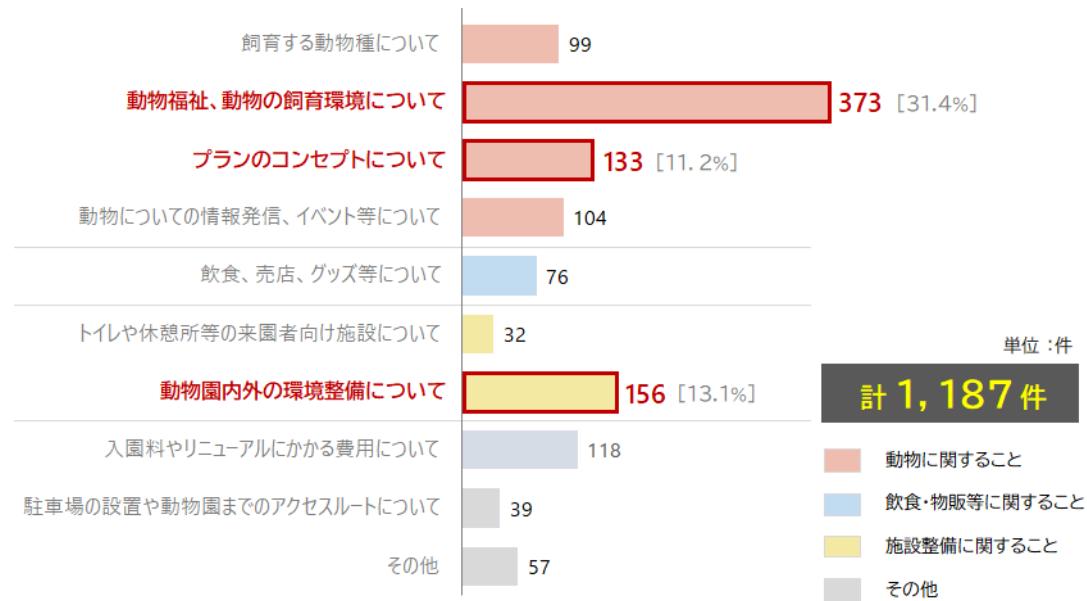
意見数 意見通数 **551通** 意見総数 **1,187件**

(実施期間：令和6年2月19日(月)～3月19日(火)：30日間)



(2) 回答者の属性

- ① 回答者の約57%が市内在住で、うち約31%が西区・中区にお住まいの方々からのご意見でした。
- ② 意見数の最多層は50代で、また20代から40代が約55%を占めました。
- ③ 「野毛山動物園に主に一緒に行く人は」との問いに対しては、「配偶者・パートナー」「ひとり」「子ども」との回答が上位となりました。
- ④ このほか自由意見として、「動物福祉・動物の飼育環境」「プランのコンセプト」「動物園内外の環境整備」など、様々なご意見をいただきました。



(3) 野毛山動物園リニューアルプランの策定

市民意見募集でいただいたご意見を踏まえ、以下に示す内容について新たに3ページを追加するなどの修正を行いました。

■主な修正点① 動物福祉の視点 (リニューアルプラン P6)

動物福祉について多くのご意見をいただいたため、基本的な考え方や環境エンリッチメントの取組等に関する内容を追加しました。

採食 エンリッチメント

動物が野生本来の採食行動を発現できるような工夫

認知 エンリッチメント

動物の好奇心や探求心を刺激し、動物自身が思考できるための工夫

空間 エンリッチメント

動物の行動特性に配慮した生活空間づくり

感覚 エンリッチメント

動物の五感を刺激して環境に変化をもたせる試み

社会 エンリッチメント

多種動物との混合展示など社会的な刺激を増やす試み

■主な修正点② その他の取組 (リニューアルプラン P17)

来園者向けのイベントや園内マップ・動物の説明パネルの充実等についてご意見をいただいたため、これらに関する内容を追加しました。

■主な修正点③ 公園部分について (リニューアルプラン P18)

野毛山公園にある広場等の多目的な活用やモニュメントの設置等についてご意見をいただいたため、これらに関する内容を追加しました。

■その他のご意見について

今後のリニューアルプランの具体化や動物園運営の中で参考にさせていただきます。



※詳しくは横浜市のホームページでご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/zoo-garden/nogezoo.html>

(4) 今後の進め方

今回確定した野毛山動物園リニューアルプランをもとに基本計画及び基本設計等を進め、令和10年度末の第1期エリア完成を目指します。

【図】野毛山動物園リニューアル 全体ゾーニング及び先行整備について



■先行整備について



⇒ R7年3月末完成予定

⇒ R6年4月完成済み



野毛山動物園
リニューアルプラン

ZOOっと
あるから
もっと  GOOD
のげやまどうぶつえん

目次



| | |
|-------------------------------|---------|
| 1 はじめに ～野毛山動物園リニューアルプラン策定の背景～ | P 1 |
| 2 野毛山地区のエリアコンセプト | P 2 |
| 3 野毛山動物園のリニューアルについて | P 3-6 |
| (1) 野毛山動物園の特徴 | P 3 |
| (2) リニューアルの視点と取組の方向性 | P 5 |
| (3) リニューアルのねらいと想定される効果 | P 5 |
| (4) 動物福祉の視点 | P 6 |
| 4 野毛山動物園リニューアルの内容 | P 7-20 |
| (1) 全体ゾーニング | P 7 |
| (2) エントランス棟 | P 8 |
| (3) ズーパリエンタ！ センター | P 9 |
| (4) ふれあいパークゾーン | P 13 |
| (5) 絵本に出てくる動物たちゾーン | P 14 |
| (6) 飲食・休憩所の充実 | P 15 |
| (7) その他の取組 | P 17 |
| (8) 公園部分について | P 18 |
| (9) 野毛山動物園の楽しみ方(イメージ) | P 19 |
| 付録 | P 21-24 |
| (1) 野毛山動物園について | P 21 |
| (2) 野毛山動物園のあゆみ | P 21 |
| (3) 野毛山動物園を新しくする理由 | P 23 |
| (4) 皆さんの声 | P 24 |

1 はじめに ～ 野毛山動物園リニューアルプラン策定の背景 ～

- ・横浜市立動物園の中で最も長い歴史のある野毛山動物園は、これまで多世代にわたる多くの市民の皆様が親しまれてきました。一方、開園から70年以上が経過し、施設の老朽化やバリアフリーへの対応、動物の飼育環境など、改善すべき課題も様々出てきていることから、**将来を見据えて動物園全体をリニューアルしていく必要があります。**
- ・野毛山動物園周辺には多様な魅力（立地特性/ポテンシャル）があるため、周辺地区のまちづくりとも連携しながら動物園のリニューアルを進めることで、**エリア全体の価値を高めていきたい**と考えています。



これまで親しまれてきた野毛山動物園のどこか懐かしい空気感は大事にしながら、市民の皆様と様々な動物たちがより快適に過ごせる動物園をつくっていくことを目指し、そのための指針として「**野毛山動物園リニューアルプラン**」を取りまとめました。



これにより、まちの魅力やブランド力の向上を図り、中期計画2022～2025に掲げた「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実現につなげていきます。

2 野毛山地区のエリアコンセプト

野毛山地区がこれまで以上に、誰もが分け隔てなく、学び、楽しみ、やすらげる場所となるよう、エリアコンセプトに基づき、各施設が連携しながらエリア全体でまちづくりを進めます。

誰もが学び、楽しみ、交流し、理解しあえる
インクルーシブなまちづくりの展開

エリアコンセプトに基づきリニューアル・施設整備を進める



コラム1 障害児者支援拠点『横浜市多機能型拠点』の新規整備

▶ 障害がある人にもない人にも、すべての人にやさしいまちになることを目指して障害児者支援拠点『横浜市多機能型拠点』を新たに整備します。

- ▶ 医療的ケアを必要とする重症心身障害児者等と家族の暮らしを包括的に支援するための横浜ならではの施設
- ▶ 野毛山地区への立地により、図書館や動物園と連携し、インクルーシブな取組を展開

※障害児者支援拠点

…医療的ケアを必要とする重症心身障害児者等とその家族の地域での暮らしを支援するための施設



多機能型拠点の様子



コラム2 中央図書館内に「のげやま子ども図書館」を整備

▶ 中央図書館の1階について、親子連れや子どもたちが楽しく学べる居心地の良い「子ども図書館」としてリニューアルします。

R6年度 先行整備

安心・楽しい
親子フロア

子どもたちが何度でも来なくなる、楽しく学べる環境づくり



参考イメージ

[注] 構想段階であり、今後の検討で変更が生じる可能性があります。

R7年度 改修予定

楽しく学べる子どもフロア

安心して遊び、絵本を読む
環境づくり

〔リニューアルの具体的な内容等
今後検討を進めます〕

▶ 誰もが使いやすい図書館となるよう、インクルーシブな環境づくりを進めます。

・車いすやストレッチャーでも利用しやすいフロア環境づくり
・バリアフリー動線の整備

3 野毛山動物園のリニューアルについて

(1) 野毛山動物園の特徴

Access

みなとみらい すぐくちかい

実は、みなとみらいから、すぐくちかいんです。
最寄りの桜木町駅からバスで8分。徒歩でも15分。
坂はあるけど... 野毛山公園を通れば急坂も散策に。
でも野毛山の方が昔からあるから、
野毛山から、みなとみらいが近い。のかも。

Contents

ここにはぞうが いたんだぞう

70年以上の歴史がある野毛山動物園では、
かつて象がいた場所をレストランにしたり、
かつてのシロクマ獣舎の内側に入れたり、
歴史があるからこそ、思い出や展示方法、
動物の一生があります。
そんな歴史を知る人がいれば、楽しさも倍増。
世代をつなぐ楽しさがあるのも魅力の1つです。

Contents

もふもふ つるつる ざらざら どきどき

野毛山動物園には様々な動物がいます。
 “もふもふ”の動物もいれば、
 “つるつる”だったり“ざらざら”の動物もいます。
 命は、私たちも含めて、みんな、“どきどき”。
 動物とのふれあいや観察が、“生きている”実感に加え、
 自分自身の触覚や視覚などの体験を言葉にするのに、
 大きな役割を果たしていると言えます。

Facilities

むかしながらも ありながら

昔から知ってる人はもちろん、
 初めて来た人にも、どこか懐かしい。
 古いからこそその魅力を持つ野毛山動物園。
 古くても、いいものは、そのままに。
 もっと多くの人に来てもらえるように、
 回りやすい園内、古いけど、きれいな園内に。

(2) リニューアルの視点と取組の方向性

今回のリニューアルでは「動物福祉への配慮」を基本におき、

野毛山動物園の特徴を生かしながら、さらにその価値を高めるための**4つの視点**
(① インクルーシブ ② 親子の楽しみを充実 ③ 動物とのふれあいを充実 ④ 都市型)

を定め、これらに応じた様々な取組を進めていきます。



コンセプトマップ(上図)について

今回のリニューアルの考え方を体系的に表したもので、種の保存など動物園の基本的役割と動物福祉への配慮をこれからも根本的なマインドとして持ちながら、4つの視点やそれらに紐づく様々な取組が一体となり、新たな野毛山動物園をつくっていくことをイメージしています。

(3) リニューアルのねらいと想定される効果

今回のリニューアルにより、次のような効果を目指していきます。

動物展示と遊びの融合

子育て世代などのホスピタリティ向上

飲食・休憩機能の質の向上

バリアフリー化

動物の住みよい環境づくり

野毛山動物園に
来園される皆様の

ワクワク感
満足感

の向上を図ります。



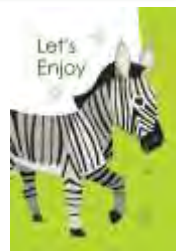
(4) 動物福祉の視点について

今後のリニューアルでも動物福祉の視点を重視し、さらなる充実に取り組んでいきます。

『動物福祉 (アニマルウェルフェア)』とは

「動物福祉」とは、英語の「Animal-welfare(アニマルウェルフェア)」を直訳したもので、飼育動物をストレスや病気などの苦痛から解放するという考え方です。

そのためには、清潔な環境の提供や適正な給水・給餌だけではなく、動物種に応じた適切な広さの飼育スペースを確保したり、本来の運動能力を発揮できるようにすること、隠れたい時に隠れられるような展示場にするなどが必要となります。



環境エンリッチメントの取組

～ 飼育動物の本来の行動特性や多様性を引き出し、動物の福祉と健康を改善するための様々な工夫 ～

動物が野生本来の採食行動を発現できるような工夫

採食

エンリッチメント



野生動物は、1日の多くの時間を採食に費やします。例えば写真のようなフィーダーを展示場に設置し、動物本来の採食行動を発現できる工夫をしています。

動物の行動特性に配慮した生活空間づくり

空間

エンリッチメント



樹上で暮らす生息環境を再現したレッサーパンダの飼育場の例

動物の好奇心や探求心を刺激し、動物自身が思考できるための工夫

認知

エンリッチメント



3次元に動き回る動物の生態行動を発揮できるような遊具等の設置

群れ飼育や他種動物との混合展示など社会的な刺激を増やすための試み

社会

エンリッチメント



音や匂いなど、動物の五感を刺激して環境に変化をもたせる試み

感覚

エンリッチメント



動物たちの健康管理のうえで血液検査は欠かせませんが、麻酔や体を抑えたりすることは精神的負担が大きくなります。そこで、『ハズバンダリートレーニング』と呼ばれる受診動作訓練を行うことで、精神的な負担をかけずに検査ができるようになります。



なかよし広場では、動物福祉に配慮した運営を行っています。例えばモルモットについては、自ら表に出ていくことを選んだ個体をふれあいプログラムの対象としています。また、完全予約制で事前にきちんとレクチャーを行ったうえで、かごに入れた形とするなど、動物ファーストの対応を行っています。

今後のリニューアルにより、動物たちがさらに暮らしやすい環境づくりに向けた様々な取組を推進していきます。

1
2
3
4
付録

4 野毛山動物園リニューアルの内容

(1)全体ゾーニング

動物種の特長や展示のテーマ性等に応じて動物園内を3つのゾーンに分け、リニューアルを進めていきます。



[注] 図中の各施設は現状の配置を表しています。

1 (仮称)野毛山へようこそゾーン【第Ⅰ期エリア】

- * 新たに生まれ変わる野毛山動物園を最初に印象付けるエリア。エントランス棟では、動物の“映える”モニュメントやペンギンたちが来園者を出迎えるとともに思い出に残る魅力的な物販コーナー等を整備します。
- * 動物展示と多様な“遊び”の機能が融合し、天気や季節を問わず誰もが何度でも訪れたい屋内型施設『(仮称)ZOOPERIENTA! CENTER (ズーペリエンタ!センター)』を整備します。

2 (仮称)ふれあいパークゾーン【第Ⅰ期エリア】

- * 身近な動物たちと多様な形でふれあうことで、子どもたちの感性を高めていける場所を整備します。

3 (仮称)絵本に出てくる動物たちゾーン【第Ⅱ期エリア】※第Ⅰ期以降順次整備

- * キリンやシマウマなど、絵本で目にする親しみある動物たちのいきいきとした姿が楽しめる場所を整備します。

令和10年度までに優先的に整備



リニューアル後 動物園全体のイメージ

- A エントランス棟 B ズーペリエンタ!センター
- C ひだまりカフェ D 爬虫類館
- E キリン・シマウマ舎 F サル舎
- G 休憩棟 H なかよし広場 I 猛禽舎



(2) エントランス棟



生まれ変わった野毛山動物園を強く印象付けるエントランスゲート



動物型のモニュメントとともに思い出の一枚を残せるフォトスポット

動物園に来たワクワク感が高まるペンギンたちのお出迎えエリア

目移りが止まらない魅力的な商品であふれるグッズショップ



(3)ズーペリエンタ！センター

野毛山動物園のリニューアルを特徴づける新たな中心施設として、遊びを通して動物たちを深く知ることができる、**動物展示と“遊び”が一体となった屋内型体験施設『(仮称)ZOOPerienta! CENTER(ズーペリエンタ！センター)』の整備**を進めます。

コンセプトイメージ

- ▶ 目の前でイキイキと生活する動物たちと同じ環境の中で**いろんな遊びにトライ**することで、**「私も同じ！」という感情と体験**の中から、ヒトと動物の身体的な構造や動き、生態の違い、共通点などを見つけ、その面白さや不思議さにおのずと関心が向くような施設とします。
- ▶ **自分と動物を重ねる体験**の先に生まれる、感動と発見に満ちた拠点づくりを目指します。
- ▶ 音などの刺激が伝わらないづくりや、動物が隠れたい時に隠れられる場所を用意するなど、**動物にストレスを与えないよう配慮した施設**としていきます。



施設名称について

- ・ **ZOO** LOGICAL (ズーロジカル/動物園での)
- ・ EX**PERI** ENCE (エクスペリエンス/経験)
- ・ **EN** TER **TA** INMENT (エンターテイメント/遊び)
- ・ **!** (オドロキ)

(仮称)ズーペリエンタ センター
ZOOPerienta! CENTER

▶ 上記のコンセプトイメージを体現する場所とすることを旨とし、4つの単語から組み合わせることで施設名称を設定しました。

整備位置



新たな施設の整備にあたってはエレベーターやスロープを設け、バリアフリー動線を確認します。



[注] 図中の各施設は現状の配置を表しています。

施設の断面イメージ

施設内にエレベーターやスロープを設け、すべての来園者が楽しく快適に観覧しやすい動線とします。



ズーパリエンタ！センターで飼育することを検討している主な動物

① レッサーパンダ



野毛山動物園の人気者

森林/樹上

- ・中国等の標高1,500～4,000mの山岳地帯の森林に生息。
- ・夜行性で単独行動。

② カグー



国内で見れるのは野毛山だけ

密林

- ・生息域はニューカレドニアのみに分布。標高1,400m以下の密林地帯に生息。
- ・捕食者となる天敵がないため、飛翔能力が退化。

③ マヌルネコ



小型ネコ科動物の新規導入

岩場/草原

- ・モンゴル東部～イラン西部に広がる、乾燥して非常に寒い高山帯の岩場や草原エリアに生息。

④ 爬虫類 ハキサリクガメ等



日本で初めて繁殖に成功

乾燥地帯等

- ・写真のハキサリクガメはマダガスカル島の固有種。乾燥した低木の林地や藪地などに生息。

動物種

生息環境等

必要な飼育スペースの広さや温度・湿度などに十分配慮し、それぞれの動物が住みやすい環境をつくっていきます。



(仮称)
**レッサーパンダ
ワールド**

レッサーパンダたちの住みよい環境をつくとともに、動物を間近に観れる休憩スペース等の設置も検討します。



(仮称)
カグーワールド

国内では唯一、野毛山動物園で飼育しているカグーの展示と併せて、その生息地の環境を模した遊び空間の整備を検討します。



(仮称)
**3 マヌルネコ
 ワールド**

「最古のネコ」とも呼ばれるマヌルネコを新たに展示し、岩場などの生息地の環境を体感しながら、動物と同じような動きで遊べる遊具を併設することを検討します。



(仮称)
**4 はちゅうるい
 ワールド**

リクガメなどを多様な方法で観察できるコーナーや、生息地の環境を模した遊具空間の整備、さらに多目的ホールや授乳室などの設置を検討します。



(4)ふれあいパークゾーン



こんなことを検討しています！

動物を身近に感じ、命を体感できる広場の整備

- ・既存のモルモット等の飼育に加え、ヤギやヒツジなどの身近な動物の飼育を新たに開始します。
- ・橋を渡る、岩を登るなど、動物と同じ動作を真似ることで動物の大きさや動きを体感できる場所を整備します。
- ・ガラス越しでは感じられない動物のにおいや体温などを知り、ふれあうことで子どもたちの感性を高めていける場所をつくります。
- ・動物にストレスがかからないよう配慮しながら、ふれあいを実施します。



ふれあいコーナーについて（なかよし広場）

- ・天候に左右されず誰もが動物たちとのふれあいを楽しめるよう、新たに屋根をかけます。
- ・また、隣接のトイレについても親子が使いやすく、子どもの目を引くようなトイレに改修します。
- ・例えば動物が餌を食べるためのフィーダーづくりに来園者自らが参加し、“間接的”に動物の暮らしに関わるなど、多様な方法でのふれあいを実施します。

【参考写真】天王寺動物園



(5) 絵本に出てくる動物たちゾーン



こんなことを検討しています！

動物たちが暮らしやすく、来園者もワクワクする場所の整備

- ・キリンやシマウマ等の飼育スペースを拡張し、のびのびと暮らせる場所へとリニューアルします。（アニマルウェルフェア＝動物福祉への配慮）
- ・キリンと同じ目線を楽しめるデッキ園路を整備し、より間近にキリンたちと出会い、散歩や観察を楽しめるようにします。
- ・サルが通れるネットトンネル、コアリクイが木登りする飼育スペースなど、動物たちが自由に動き回る様子を楽しめる空間をつくります。

例) 現在の飼育場の様子

- ・園内の限られたスペースで飼育していることから、キリンとシマウマは交代で展示場を利用しています。
- ・第2期工事では展示場の拡大を図り、キリンやシマウマがより暮らしやすい環境づくりを進めています。



(6) 飲食・休憩所の充実

① 園内のレストランメニューのバリエーションを増やします。



地元素材を使用した名物グルメ
子どもたちが楽しみながら
おいしく食べられるキッズプレート
大人の満足度も高いカレーや
パスタなどのメインフード

ちょっとお腹が空いたときに
お手軽なワンハンドグルメ



ここでしか食べられない
野毛山オリジナルスイーツ

…など

② 繁忙期にはキッチンカーを展開し、沢山のメニューから選べる楽しみ・魅力の向上を図ります。

にぎわいのある楽しい
公園をつくっていきます！





③ お弁当やワンハンドフード等を気軽に食べたり、
休める場所などを整備します。



休憩棟の新築

動物観察の合間に小さいお子様連れのご家族ものんびり快適に過ごせる休憩棟に建て替えます。



大池前広場の再整備

大池前にある広場について、芝生を囲むようにベンチ等を設置し、お弁当を広げて皆でワイワイ食べたり、ちょっと休憩できるような居心地の良い場所へと再整備します。



ズーペリエンタ！センター内

ズーペリエンタ！センター内に多目的ホールを整備し、お弁当を食べたり、休憩などができる場所を整備します。

トイレのリニューアル

より快適にご利用いただけるよう、カグー舎横のトイレを建て替えます。
また、障害者等にも配慮したインクルーシブなトイレの設置も検討していきます。



(7)その他の取組

子どもから大人まで、来園された皆さまが
何度でも訪れたいくなるような動物園としていくための
多様な取組を検討、実践していきます。



飼育員や獣医のお仕事解説、大人から子どもまで楽しめる
ワークショップなど、多様なプログラムの充実・新規開発



皆様に愛されていた
動物たちの思い出の承継



触覚や聴覚、嗅覚などを通じ、
障害がある方々も楽しく体験できる
ハンズオン展示



分かりやすい案内サインや
動物の説明パネルの充実、
多言語化への対応



募金やクラウドファンディング
などを積極的に活用した
動物たちの暮らしの改善



…など

(8)公園部分について

多様な世代や世帯が訪れ、遊び、くつろぎ、賑わう野毛山公園とすることについて検討、実践していきます。

野毛山公園（散策地区）入口のイメージ



〈取組のアイデア〉

- ・ワクワク感が高まる
ウェルカムZOOゲートや
動物型オブジェの整備
- ・緑や花を楽しみながら、
野毛山動物園へと誘う
小道づくり …など



〈取組のアイデア〉

- ・ゴールデンウィーク等の繁忙期におけるキッチンカーの展開
- ・大人から子どもまで楽しめる、マルシェやワークショップ等の開催
- ・だれもが楽しめる、仮設の遊具やイベント等の開催 …など

イベント等で賑わう野毛山公園（展望地区）のイメージ



(9)野毛山動物園の楽しみ方(イメージ)

リニューアルによって生まれ変わった野毛山動物園で目いっぱい一日を楽しむ、とある家族の一日をイメージしたモデルケースです。

AM ~ Lunch



9:00
桜木町駅に到着！
今日一日、目いっぱい遊ぼう！



公園に寄り道しながら動物園に行こう！
ワクワクしてきたぞ！



9:30
動物園に到着！
フォトスポットで写真を撮ったり、ペンギンにも出会えるよ。



10:00
リニューアル後の目玉施設、
ズーパリエンタ！センターへ。
午前中はここで遊んで楽しむぞ！



12:00
あー、遊んだ遊んだ。そろそろお腹がすいてきたな。
レストラン、おいしそうメニューがいっぱい。
どれにしよう！

お弁当を食べるなら、こちらの利用も！



休憩棟

大池前広場



PM ~

13:00

お腹もいっぱいになったし、
次は爬虫類館に行って、
それからキリンたちに会いに行こう。



14:20

もう一つ、今日楽しみにしていたふれあいパーク。
かわいい動物たちに癒されよう。



14:00

ちょっと日陰でひと休みひと休み。



15:30

あーとっても楽しかった。
最後にお土産をいっぱい買っていこう。
だいすきな動物たち、またすぐ会いに来るね！



夜ごはんはみなとみらい？ 中華街？
美味しいもの食べていこう！




(1)野毛山動物園について



所在地 横浜市西区老松町63-10



アクセス: 電車 JR京浜東北線・横浜市営地下鉄 バス 市営バス89系統「一本松小学校」行き
 「桜木町」駅下車 徒歩15分 「野毛山動物園前」下車すぐ 



開園時間

9:30~16:30
 (入園は16:00まで)

休園日

・毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
 ・12月29日~1月1日

※5月・10月は無休 ※臨時開園あり



(2)野毛山動物園のあゆみ

S26年 [1951年] S39年 [1964年] 1969 S47年 [1972年] S57年 [1982年] 1985 H元年 [1989年]

動物園と遊園地を兼ねた「野毛山遊園地」の開園



開園当初から飼育してインドゾウの「はま子」

遊園地の閉園・動物園の入園料無料化

野毛山動物園友の会発足

日本初・コンドルの繁殖に成功

施設名称を変更
 「野毛山動物園」に



フタコブラクダのツガルさんが入園

日本初・オオアリのクイの繁殖に成功

市政100周年記念にカグーの贈呈を受けて飼育開始



▲開園当時の野毛山遊園地



▲混み合う園内 (S43年頃)



S59 [1984]年当時の園内マップ ▶



コラム 動物園の役割

近年、世界的に動物園の存在意義は変化しています。

かつては動物の見世物小屋や、王族の趣味の施設から始まりましたが、現在の動物園は博物館としての機能が重視されており、「レクリエーション」施設としての役割のみならず、希少な動物を増やし守っていく「種の保存」や、野生動物を題材に「調査研究」する施設、さらにそれを多くの市民に還元する「教育」施設としての4つの役割がうたわれています。また、近年ではSDGsなど、時代の変化と共に新たな視点も加わってきており、野毛山動物園はこうした大切な役割を長年担い、運営しています。

希少種の繁殖、調査・研究

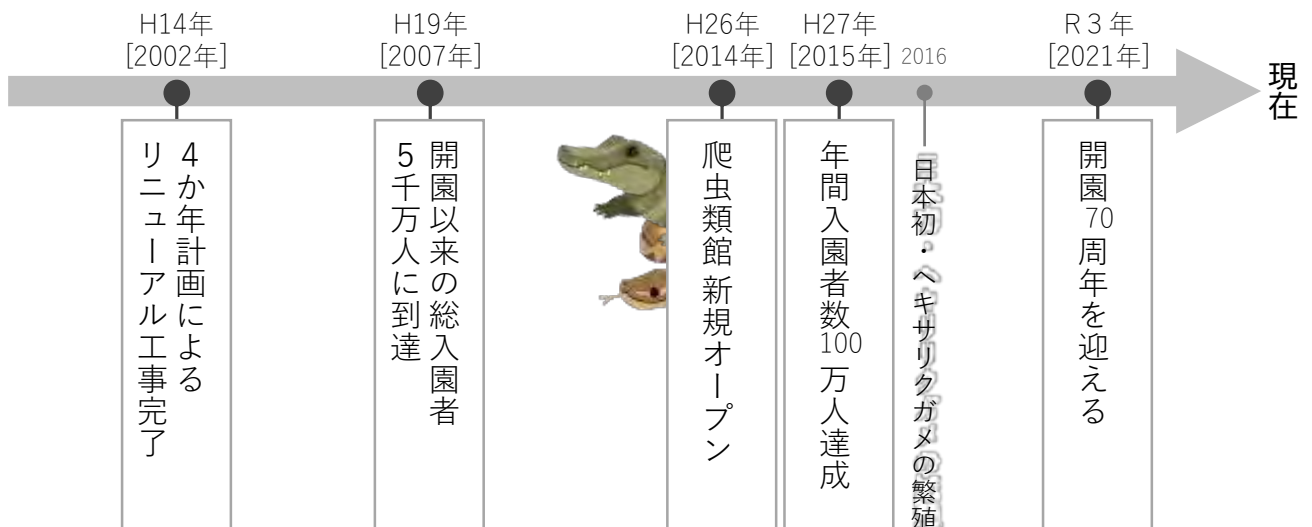


生態・現状を伝えるガイド



セミナー・研究発表

学校団体向けプログラム



▲かつてはキリンとゾウが向かい合って暮らしていました

▲日本動物愛護協会から功労賞を受ける在りし日のツガルさん

(3)野毛山動物園を新しくする理由

現在の動物園がどんな課題をかかえているか見てみましょう



理由① 高低差の多い園内

現在の動物園には坂や階段があるので、ベビーカーや車イスで園内をまわるのが大変な場所もあります。皆さんが歩きやすい園路にすることで、もっと動物園を楽しめるようにしていきます。



理由② 動物舎が狭かったり、空いている

動物舎(動物たちのお家)が狭かったり、空いてしまっているところがあります。もっと走り回ったり、遊んだりできる広い住まいに直して、動物たちが快適に暮らせる場所をつくっていきます。



理由③ 休憩所やトイレが古くて使いづらい

開園から長い時間が経ち、来園者の皆さんが使いづらかったり、古さが目立つ休憩所やトイレがあります。

これらを新たにリニューアルし、訪れる皆さんが快適にすごせる空間をつくっていきます。



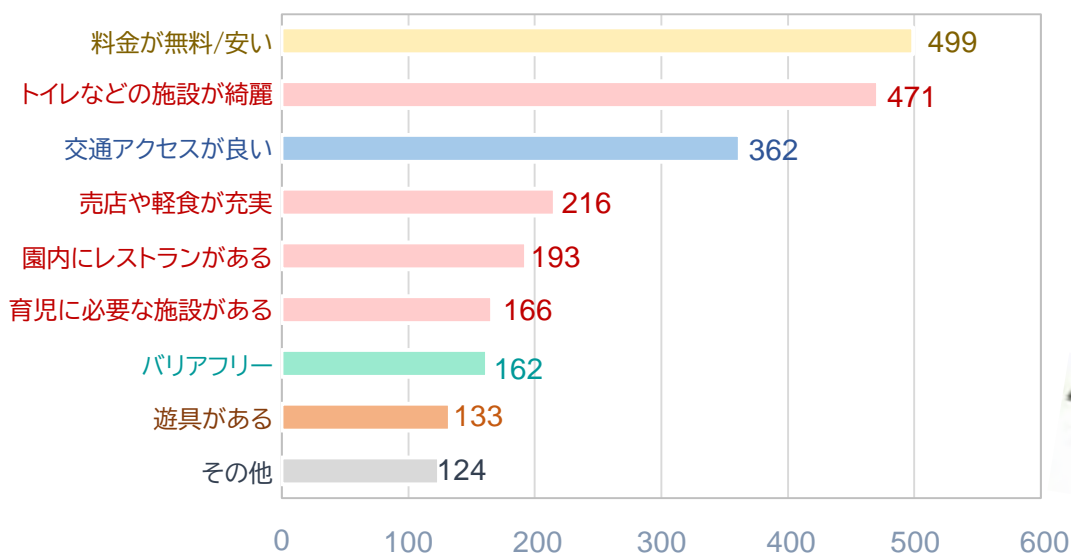
(4)皆さんの声

Q どのような動物園であれば行きたいと思えますか？

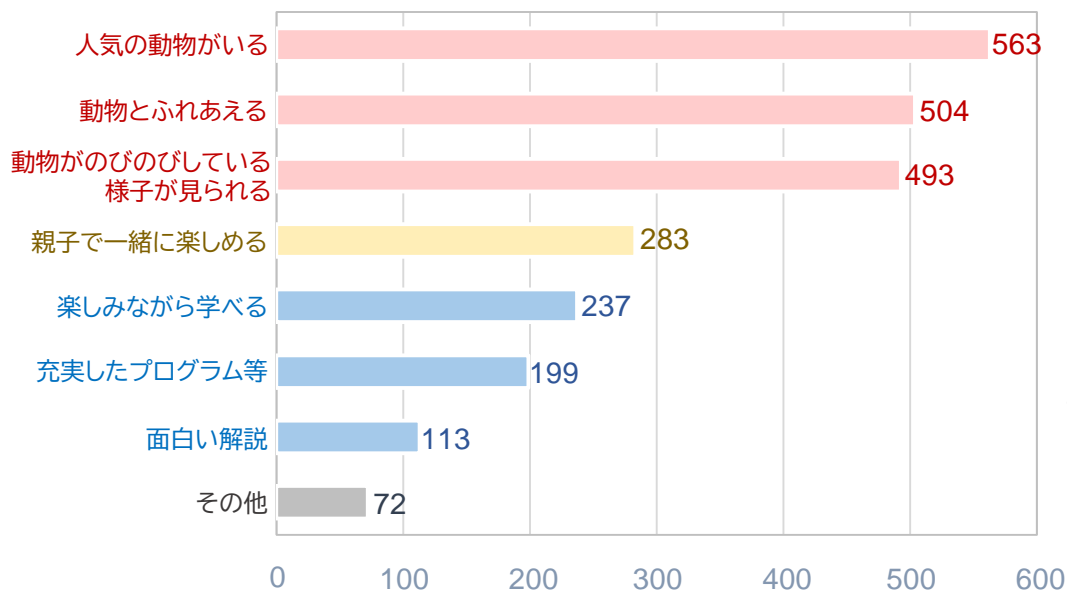
(各項目3つまで選択可)



【施設面】 回答数:2,326



【施設面以外】 回答数:2,464



アンケートの実施概要

実施期間 令和5年6月21日(水)~7月9日(日) : 18日間
 回答者 1,010名



ZOOっと
 あるから
 もっと **GOOD**に
 のげやまどうぶつえん

